

**令和4年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和4年12月
海老名市立海老名小学校**

令和4年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語, 算数・数学及び理科)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

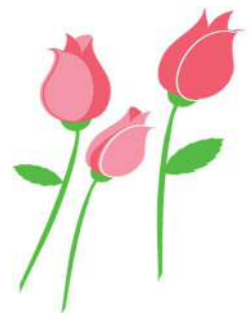
(2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和4年4月19日(火)

※児童生徒質問紙調査について、一部の学校で、端末を活用したオンラインによる回答方式で実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し言葉と書き言葉との違いを理解することができるかどうかをみる。
- ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えることができるかどうかをみる。
- ・必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容の中心を捉えることができるかどうかをみる。
- ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・人物像や物語の全体像を具体的に想像することができるかどうかをみる。
- ・表現の効果を考えることができるかどうかをみる。
- ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができるかどうかをみる。
- ・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるかどうかをみる。
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。
- ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容の中心を捉えること。
- 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。

◆課題のある点

- 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめること。
- 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 話し合い活動の後、交流について振り返る時間を設ける。その際は、具体的な模範例を示し、全員が自分の考えをまとめられるようにする。
- 学習のまとめを書く際に、キーワードを示し、その言葉を使って文章を書いていく経験を積ませる。また、よりよい意見を全体に共有することで、学びを深める。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・二つの数の最小公倍数を求めることができるかどうかをみる。
- ・示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できるかどうかをみる。
- ・示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できるかどうかをみる。
- ・百分率で表された割合を分数で表し、基準量から、比較量を求めることができるかどうかをみる。
- ・示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうかをみる。
- ・二つの数量が比例関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できるかどうかをみる。
- ・全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができるかどうかをみる。
- ・分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できるかどうかをみる。
- ・目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・加法と乗法の混合した数の求め方を解釈し、他の場合の求め方と答えを記述できるかどうかをみる。
- ・正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できるかどうかをみる。
- ・長方形・ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解しているかどうかをみる。
- ・作図手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

○示された場面に合致した四則を組み合わせた式や、割合から基準量や比較量を求める式を立て、計算処理をすること。

○プログラムの命令と多角形の作図の手順が一致するようにプログラミングをすること。

◆課題のある点

○最小公倍数と最大公約数の違いのように算数的な用語の意味を正しく理解し、数理的な処理に活用すること。

○式や言葉を用いて立式の根拠や、計算の過程を説明すること。

今後の具体的な指導改善のポイント

○単に問題を解決するのみならず、問題解決の過程や結果を振り返って、得られたことを多角的な視点で捉え直したり、思考の過程を説明したりすることでイメージを伴って数量や式、図形、表、グラフを応用する機会を増やす。

小学校 理科

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・昆虫の体のつくりを理解しているかどうかをみる。
- ・提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・メスシリンダーという器具を理解し、正しい扱い方を身に付けているかどうかをみる。
- ・問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・日光は直進することを理解しているかどうかをみる。
- ・実験の過程や得られた結果を適切に記録しているかどうかをみる。
- ・実験や観察で得た結果を解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解しているかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 冬の天気と気温の変化をグラフから読み取り、夏の天気と気温の変化を基に結果を分析してどのようなことが言えるか考えること。
- 昆虫の体のつくりをよく理解すること。

◆課題のある点

- 情報を複数の視点で分析して、解釈し自分の考えを持ち記述すること。
- 自然現象についても、全国平均よりよくできているが、知識を日常生活と関連付けて考えたり生かしたりすること。
- 実験の過程を適切に理解すること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 学習で得た知識を、より日常生活と関連付けて考えたり日常生活に生かそうとしたりできるように授業の導入や展開、実験を分析してまとめる時など日常生活を振り返る機会を多く設ける。
- 自分の言葉で気付いたことをまとめる力が身に付くよう、授業の中で習慣化していく。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- どの教科においても「書く問題では、どの設問でも最後まで書こうと努力した」と回答する児童の割合が高く、得意不得意に限らず、粘り強く取り組む姿勢が育ってきていることがわかる。
- 「話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができている」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と答えた児童の割合が全国平均より高く、友達の意見に関心をもち、考えることに前向きな児童が多いことがわかる。

◆本校の課題と思われるところ

- 国語において、「授業の内容はよくわかる」と答える児童の割合が全国平均よりもやや低い。また、「解答時間が足りなかった」と感じる児童が多いことから、国語への理解を高める必要がある。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「自分には、良いところがある」と答える児童の割合が全国平均よりも高い。
- 「携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っている」「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と答える児童の割合が全国平均よりも高い。

◆本校の課題と思われるところ

- 「将来の夢や目標を持っている」と答える児童の割合が全国平均より低い。
- 「学校に行くのは楽しい」と答える児童の割合が全国平均より低い。

今後の具体的な取組について

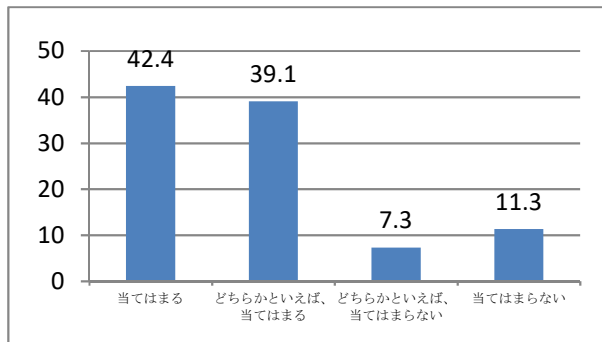
- 他教科に比べて、国語に課題を感じている児童が多く見られるが、一方で、読書への親しみは比較的深いことが分かっている。学校図書館や市の電子図書館の活用、教科指導の充実を通して、文字に触れる機会を作ったり、文章への理解を深めたりしていく。
- 将来の夢や目標を持つことは、現在の生活を充実させる要因の一つである。自分の将来について、より具体的なイメージや希望がもてるよう、各学年や児童の発達に応じたキャリア教育の充実を図る。また、教員からの声掛けを通して、それぞれの教育活動の意義や喜びが感じられたり、友達同士で認め励まし合えたりする環境を作っていく。

家庭で取り組んでいただきたいこと

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 子どものよいところをたくさん伝えていきましょう。

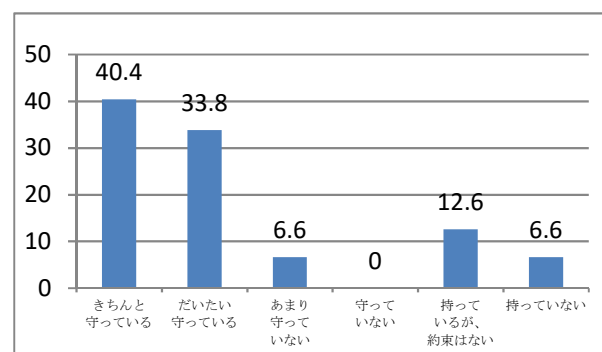
自分の良さを知り自分を認めることは心を強くし、自己肯定にもつながります。これからの時代をたくましく生きていく力を育てるために、引き続き子どものよいところを認め伝えてください。



自分には、よいところがあると思いますか？

2 情報利用についてのルールを家庭でも確認しあいましょう。

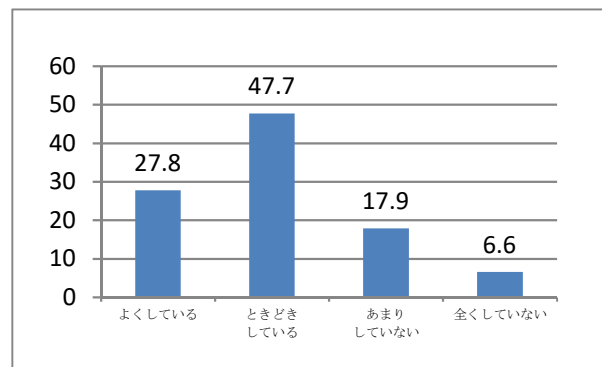
ご家庭でもインターネットを利用する機会が増えてきています。情報利用についてのルールを決めて、安全に正しく使用するようにしましょう。



携帯電話、スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか？

3 子どもの自発的な学びを見守り、励ましましょう。

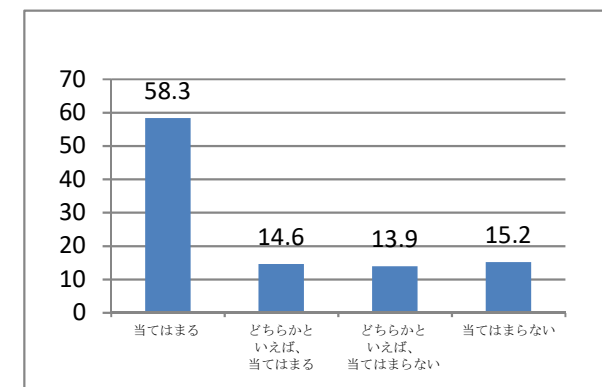
自発的な行動は、子どもの心の充実や自信となり「自ら考えて行動する力」を育みます。また、自主的に予習・復習をすることで学びが定着し、学力向上につながります。



家で自分で計画を立てて勉強をしていますか？

4 自分の夢や目標に向けて努力することの大切さを実感させましょう。

夢や希望を膨らませ将来を目指すことは今の生活を充実させる要因になります。スモールステップの目標を立て、その頑張りや成果を認めることで、実現に向けての自信と意欲を高めましょう。



将来の夢や目標を持っていますか？

結果の公表にあたって

- 公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。
- 公表することによって、保護者や市民の皆様にも市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。
- 「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係